

物故会員

松 浦 武 先生（6期 6月28日ご逝去）

竹 内 敦 男 先生（23期 8月5日ご逝去）

2023年(令和5年)度 法友『政策～われわれが当面する重要課題』

第1 会員のプラットフォームとしての弁護士会

- 1 弁護士自治
 - (1) 弁護士自治の重要性
 - (2) 不祥事対策
 - (3) 近時の非弁提携問題
- 2 IT化への対応
 - (1) 総論
 - (2) 情報セキュリティ問題
 - (3) デジタルデバイドへの対応
- 3 男女共同参画への取組
 - (1) ジェンダー平等社会への取組
 - (2) 努力義務規程と環境整備
- 4 業務拡大
 - (1) 分野別登録弁護士制度の拡充
 - (2) 法律相談事業の拡充
 - (3) 行政等他機関連携
 - (4) スタートアップ支援の拡充
 - (5) 企業内弁護士のための取組
- 5 会務・委員会への参加

第2 市民のプラットフォームとしての弁護士会

- 1 消費者問題
 - (1) 消費者トラブルの状況
 - (2) ぜい弱な状況にある消費者の保護
 - (3) デジタル社会における消費生活の安全
- 2 次世代を担う子どもや若者の人権課題
 - (1) 総論
 - (2) 子どもをめぐる国の動き(こども家庭庁新設, こども基本法制定, 子どもの意見表明権など)への対応
 - (3) いじめを始めとする学校における課題への対応
 - (4) 少年法適用年齢引下げ 改正法施行後の対応
 - (5) 成年年齢引下げへの対応 自立支援への取組
- 3 家事法制
 - (1) 嫡出推定等に関する民法改正への対応

- (2) 共同親権を含む家族法制改正の動きへの対応
- 4 刑事弁護
 - (1) 可視化法3年後見直しへの対応と弁護士立会い
 - (2) 刑事司法 IT 化への対応
 - (3) 死刑制度の廃止に向けて
 - (4) 再審制度の見直し
- 5 被害者支援制度拡充への取組
- 6 生活困窮者—特にコロナ対策特例貸付の返還時期到来を受けて
- 7 外国人・国籍に関連する人権問題
 - (1) 外国人のリーガルアクセス
 - (2) 入管問題
 - (3) 表現の自由とネット被害・ヘイトスピーチ
 - (4) 移民の権利の確立を目指して
- 8 法テラス
 - (1) 利用者負担軽減に向けての取組
 - (2) DV 等被害者法律相談の対応体制の拡充
 - (3) 法テラスと共同してのアウトリーチの取組

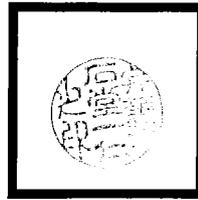
以上



実行委員長



財務部会長



財務部会計担当

収入		支出	
科目		科目	
会費等収入		事務費	
		振込手数料	3,300
小計	0	小計	3,300
行事等会費収入		行事等経費	
		大阪弁護士会への寄贈	442,192
		講演キャンセル費	83,000
		90周年記念誌発行費	1,760,000
		法友HP作成等費	712,305
小計	0	小計	2,997,497
その他の収入		その他の支出	
法友倶楽部会計口座から	6,000,000	事務局・部会事務費	
普通預金利息	113	事務局	40,148
		式典・祝賀部会	8,390
		親睦部会	53,010
		講演部会	550
		記念誌・アルバム部会	34,764
小計	6,000,113	小計	136,862
収入合計	6,000,113	支出合計	3,137,659
		収支差額	2,862,454

令和5年(2023年)度法友倶楽部常任幹事(候補者)

幹事長 中嶋 勝規 (54期 アクト大阪法律事務所)

副幹事長 山田 敬子 (56期 さくら北浜法律事務所)

副幹事長 土橋 央征 (57期 土橋・小林法律事務所)

副幹事長 梁 沙織 (58期 梅田総合法律事務所)

副幹事長 清水 諒 (62期 清水共同法律事務所)

副幹事長 永木 友雪 (64期 蒼星法律事務所)

副幹事長 (会計担当) 入江 祥大 (67期・

弁護士法人東部おおさかひらかたエール法律事務所)

ジュニア部代表幹事 天井 友香 (67期 土谷法律事務所)

町野 達也 (68期 太田・柴田・林法律事務所)

法友倶楽部新入会員

1. 所属事務所： いつわ法律事務所大阪支所

氏 名： 立 石 裕 人 (たていし ゆうと)

期 : 74期

2. 所属事務所： find away 法律事務所

氏 名： 松 尾 雅 史 (まつお まさふみ)

期 : 74期